

# 社会臨床ニュース

第 113 号

2024 年 5 月 15 日

発行◆日本社会臨床学会

〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-46-10 子問研

e-mail : shakai.rinsho@gmail.com

郵便振替 : 00170-9-707357 銀行 : ゆうちょ銀行店名〇一八 (普通) 0601545

## 日本社会臨床学会第 32 回総会のご案内

社会臨床学会第 XVI 期運営委員会

第 32 回日本社会臨床学会総会は、2024 年 7 月 6 日 (土)、7 日 (日) に東京都北区・滝野川会館で行います (地図などは 4 ページ参照)。第 32 回総会は、定期総会と記念トーク、シンポジウム、プレ勉強会から構成されています。いずれも、これまで社会臨床学会の場で多くの方が考え、論じてきた問題に通じるものです。

1 日目は、定期総会の後、「くるぞ、だめ連。」と題した記念トークを行います。だめを貫いて 30 年、『だめ連の資本主義よりたのしく生きる』を出版して、ますます注目されているだめ連の神長恒一さんにだめ連の活動についてお話いただき、「居場所—いのちの場所問題」として、現在では政策課題とまでなっている「居場所」と排除のある社会で起きてくる「場」をめぐる問題についてなど議論します。

2 日目の午前中は、「ひきこもり基本法プレ勉強会」です。2022 年に自民党が設立したひきこもり支援議員連盟が、ひきこもりの定義を改め早期介入を可能にする法律案を準備しています。そこに一部のひきこもり家族会や当事者団体の要望が加わることで、「当事者が望んだ法律」というストーリーがつけられていくのですが、このような法律がつけられることはなぜ問題なのか、ひきこもりを個人の問題として支援や介入のための法律がつけられる背景について考えていきます。午後のシンポジウムは、「はて? インクルーシブ教育」。分離教育が推進される日本では、障害のある子、不登校の子、外国籍の子といった分類によ

って学校や教室を分け、それぞれに「人材育成」をはかろうとしています。2022年に国連から「分離教育を終わらせるように」との勧告が出された後、この勧告を後押しにして、「インクルーシブ教育の実現を目指す」ことが一層叫ばれる昨今ですが、インクルーシブ教育の実現を目指すとは、いったいどういうことなのか？ 分けないということを大事にしてきた共生共育とインクルーシブ教育はどう違うのか？ 発題者の川英友さん（静岡英和学院大学教員・会員）、田中洋子さん（小学校教員・湘南教組）、福田弘美さん（子供問題研究会）から、学校や子どもが生活する場の現実と教育制度や教育行政の問題を報告いただき、「学校は生活の場」とか「シャバでともに生きる」ということの内実、また、人を人材として育成しようとするこじたいの問題などについて考えあいたいと思っています。多くの会員のみなさまに総会へご参加いただき、議論に加わってくださいますことを願っております。

また、末筆になりまして恐縮ですが、11名でスタートした第XVI期運営委員会のなかで体調不良や諸般のご事情で運営に携われない方、辞任された方が大半となりました。雑誌発行などの作業もままならず立て直しが進まず、現在は第31巻を合併号として作成中です。会員のみなさまには深くお詫び申し上げます。それとともに、運営に加わっていただきたく願う次第です。あと1年弱ではありますが、第XVI期運営委員の追加募集を行います。下記の選挙管理委員会による呼びかけをご確認のうえ、ぜひ立候補をお願いいたします。

## 第XVI期運営委員追加募集について

2024年7月6日（土）の第32回日本社会臨床学会定期総会において、日本社会臨床学会第XVI期運営委員の選出を行います。運営委員選出は立候補の後、定期総会で承認という形で行っていますが、立候補される時点で日本社会臨床学会学会員であることが必要です。立候補される方は、2024年6月5日までに、氏名・（可能であれば）所属先・立候補声明（400字以内）を、学会事務局あてに文書又はメールで送ってください。

多くの方々が学会の運営に携わってくださるよう、奮って立候補をお待ちしています。

日本社会臨床学会第XVI期運営委員選挙管理委員会

## 日本社会臨床学会第32回総会—記念トーク、シンポジウム、勉強会—

日本社会臨床学会第32回総会を東京都北区の滝野川会館で開催します。定期総会以外は会員であるなしにかかわらずどなたでも参加できます。ご参加をお待ちしています。

日本社会臨床学会第XVI期運営委員会

- 日時：** 2024年7月6日(土)～7日(日)
- 場所：** 東京都北区・滝野川会館4階和室（東京都北区西ヶ原1-23-3）  
最寄り駅/JR駒込駅・上中里駅
- 参加費：** 3000円（2日間）、2000円（いずれか1日のみ参加）  
※割引あり（学生など半額）

### ◆プログラム

#### 1日目 7月6日(土)

10:00～ 受付開始

10:30～12:00 定期総会

13:30～16:30 記念トーク **くるぞ、だめ連。**

だめを貫いて30年、『だめ連の資本主義よりたのしく生きる』を出版して、再評価されているだめ連の活動から、学び、考え、おしゃべりし、みんなで交流をします。

「いのちの場所問題」。排除のある社会で、排除のない居場所をつくろうとすれば、「ほかに行き場がまったくない状況にされた人たちがいつもいる場所」になる。トラブルばかり、話し合いばかり、これは日本社会臨床学会を含めたすべての「場」の問題でもあります、が、さわやかにペペロスから「ポストペペ」まで、夢のある話をしましょう。

トーク 神長恒一（だめ連）

司会者 勝山 実（運営委員）

17:30～20:00 交流会 参加費1000円（予約は要りません。ドリンク&柿の種等の簡素なスナックでひたすらお喋りする交流会。持込可）

2日目 7月7日(土)

10:00～ 受付

10:30～12:30 ひきこもり基本法プレ勉強会

発題者 竹村洋介 (運営委員)

勝山 実 (運営委員)

司会者 伊藤書佳 (運営委員)

13:30～16:30 シンポジウム はて？ インクルーシブ教育

発題者 川英友 (静岡英和学院大学・会員)

田中洋子 (小学校教員・湘南教組)

福田弘美 (子供問題研究会)

司会者 やまもと・たかし (運営委員)

伊藤書佳 (運営委員)

